



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO ■ DOHO ■ ENGOKAI

# 同援だより

2011年 新春号

<http://www.doen.jp/>



## 新年のご挨拶

理事長 牧野 洋一



明けましておめでとうございます。  
新年を迎え、皆様のご健勝を心より  
お喜び申し上げます。

本年も法人・施設の運営に当たり、  
格別のご指導、ご支援を賜りますよ

うお願い申し上げます。

わが国の経済は、依然としてデフレの中にあり、本格的な  
景気の回復もなく新しい年を迎えることになりました。

政府は来年度予算の編成作業を進める中で、社会福祉制  
度の見直しに取り組んでいます。介護保険制度見直しの議  
論も煮詰まり、本年早々には最終報告が出される予定で  
す。また、保育制度においても幼保一元化などの議論が進み、  
本年中に全体像が明らかになると思われれます。よりよい制  
度にするため、私たちも大いにこの議論に参加したいと思  
います。

さて、昨年は記録的な猛暑に見舞われましたが、当法人  
が運営する施設においては格別な事故もなく、経営面にお  
いても適切な収支を確保することができました。これは、日  
頃からのご利用者・ご家族のご支援、そして職員一同の努力の  
結果であり、改めて感謝する次第です。

今年も、施設の改築や人材の確保・育成など課題は山積  
しております。すでにサンライズ武蔵野とむさしの保育園の  
改築が始まっており、原町の高齢者複合施設の建設も始ま  
る予定です。また、引き続き有為な人材の確保と職員の育  
成に努め、良質なサービスを提供してまいりたいと存じます。  
当法人は、今年も利用者本位の施設運営に努めるとも  
に、地域の皆様にも喜ばれる施設を目指し一層努力してま  
います。

## 福祉サービス研究発表会における 講演とブネ法による演奏より

基調講演はスウェーデン・フディクス  
ヴァル市文化長ステンブネ先生よりご  
講演をいただきました。

また、ひかり苑と立川福祉作業所利  
用者によるブネ法による演奏活動が  
行われました。

なお以下の内容は、研修委員会の文責  
のもとに纏めさせていただいたものです。

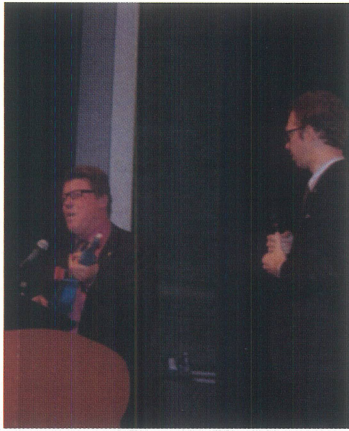
### 「ブネ法講演」

「スウェーデンからの新しい風」

スウェーデン・フディクスヴァル市文化長

ステンブネ先生

通 訳 ヨアキムカウト氏



私はスウェーデンで音楽療法の専門家  
として、認知症ケア、障がい者ケア、子供  
の教育に携わっています。スウェーデンで

は、大学の講師を勤め、現在はフディクス  
ヴァル市の文化長として勤務しており  
ます。

私が開発した音楽療法「ブネ法」が  
高齢者・障がい者・子供達にどのような  
効果があるか、お話ししたいと思います。

### 「1」音楽の活路・現代のケアとしての

#### 取り組み

ブネ法では、ブネ楽器と言われ  
る新しい楽器を用いています。楽器の  
種類はスウィングギター、単音フ  
ルート、チャイムバー、ミニベースとあり  
ます。これらの楽器は簡単な操作で  
演奏が出来るように工夫されています。  
まず、演奏はギターから始めます。  
(「春が来た」を演奏)

この楽器の特徴は、年齢や知識、障  
害に関係なく誰でもすぐに始められ  
るところにあります。もちろん  
健常者で音楽療法に興味があるとい  
う方にもお勧めです。興味があれば、  
誰でもすぐに音楽の世界に入って行け  
るのです。スウェーデンでは、企業の代  
表者の為にオーケストラや合奏団を  
作り、チームワークやリーダーシップを  
向上させる取り組みとしてこのブネ

法を使ったりしています。企業とオーケ  
ストラを比較すると、社長が指揮者と  
なります。皆が同じ方向に向かい課題  
(曲)を達成(演奏)するという点で共  
通点があります。

ブネ法では、音楽に対して参加型  
の手法をとっています。これはスウェーデ  
ンでは一般的で、自分を表現するという  
手段の一つとなっています。他の国など二  
般的には音楽は聴くという手法、受容  
型が一般的であります。聴くことでも  
もちろん効果があります。例えば、ゆっ  
たりした曲は、精神の安定に効果があ  
り、また、懐かしい曲を聴くことにより  
過去を回想するなど脳の活性化にも  
効果があります。過去を回想し、自分  
史を思い出すことはアイデンティティ  
を確立することにつながります。

### 「2」人間に対する音楽の効果

ブネ法を説明する前に音楽は人  
間に対してどのような効果があるのか  
を説明します。

人間は四つのレベルで生活していると  
言われています。

一つは、身体的なレベルです。人間の  
肉体は神経や筋肉など物理的なもので  
成り立っています。音楽を演奏する  
にしても聞くにしても、粗大運動、微  
細運動を働かせます。見る、聞く、匂  
ぐ、味わう、バランスなどです。例えば、  
笛を吹く時でも味を感じているのです。  
また、会話をする時、呼吸するとも

にコミュニケーション能力の活性化にも  
つながっています。

二つめは、精神的なレベルです。実は  
個々に音楽の大きな効果があるので  
す。音楽を聴く時には脳に働きかけ  
ます。感情を働かせます。スウェーデン  
では音楽は感情の言語と言われる事  
があります。多くの人間は音楽を「楽  
しい」と感じます。楽しいことは意欲  
を向上させることにもつながります。  
その時、脳が活性化され、感情が豊か  
になります。

三つめはスピリチュアルなレベルです。  
霊的、信仰的なレベルです。西洋では、  
宗教的な儀式の際に音楽は欠かせませ  
ん。神様と交信する手段でもあります。

四つめは、社会的なレベルです。集団  
で音楽を演奏する時には、それぞれ  
が役割を持ち、お互いが向きあい、コ  
ミュニケーションをとらなければなり  
ません。お互いを受容し、共感して一  
体感を感じること、個人、集団が成  
長します。

ここまで説明した、人間のレベルに  
沿った音楽の効果は、実際に音楽に触  
れなければ意味がありません。音楽  
を手に入れたことは、人類にとって大  
きな幸福となっています。音楽の効果  
をさらに高めるためには受容するだけ  
ではなく、積極的に参加することが重  
要となります。その時にブネ法とブ  
ネ楽器が大きな役割を果たします。  
前述したようにこれらは、音楽に気軽  
に参加することが出来るからです。

【3】高齢者にとつての音楽とは

次になぜ、高齢者の介護の現場で音楽を使うのかを説明します。まず、高齢者が音楽を演奏する際に多くの身体的な機能を駆使します。同時に精神的社会的な能力を使います。身体に不自由があったり、認知症でコミュニケーションが困難な高齢者にとつて音楽を弾く時聴く時、特に精神的な部分が反応します。例えば、認知症高齢者の脳の中では、ニューロンと呼ばれる脳神経細胞が樹状突起を伸ばし、神経ネットワークが活性化されるのです。今まで脳神経細胞は減る一方と信じられていましたが、最近の研究でこのような刺激を受けると新しく細胞が作られるとわかってきました。

神経細胞は筋肉と同じで使わないと減つてしまい、使えばどんどん活性化されるのです。

これによって、生活の機能維持が保たれます。例えば、進行性疾患の進行を遅らせることも可能となります。ADL（生活動作）が上がることで、その方の尊厳が守れ、介護することも楽になり、ADLや自律性の向上は高齢者、介護スタッフともに生活が楽しくなつてきます。

【4】ブネ法

ブネ法の進行には、五つの段階があります。ここでは高齢者の場合を想定

して説明します。

まず、最初に、ブネ療法の始め方です。シグナル効果といいますが、セレモニー曲を演奏することが療法の始まりと終わりの合図として機能します（ここでスウェーデンの結婚式の曲を演奏）。この時、スタッフはスウィングギターを演奏します。

次の段階は、ウォーミングアップです。スタッフがスウィングギターを演奏し歌を唄い、それに合わせて、高齢者が身体を動かしていきます。この時に体操するための曲を演奏します。

三番目の段階で、呼吸の活性化をします。肺を活性化するために歌を唄います。ここではフルートを使い、深い呼吸を促します。深い呼吸は脳に酸素を与え、集中力が増します。

四番目の段階で、高齢者自身が演奏をします。スタッフがリードしながら、集中力を維持し、チームワークを促進します。高齢者は、チャイムバレーや単音フルートも使用し、短いメロディーを弾いてもらいます。チームでの演奏は、複雑な脳の機能を使用し、同時に脳の活性化を促します。

五番目の段階では、更に記憶を活性化させます。認知症という病気は、短期記憶などの保持が困難になります。しかし、長期記憶は割と長い間保たれています。人間は意識だけでなく、視覚、味覚、臭覚、触覚などでも記憶を思い出す事が出来ます。聴覚による刺激だけではなく、曲にまつわるエピソード

やイメージなどでより五感を刺激し、記憶を活性化することで、認知症高齢者にも効果があります。

人間は自分の過去を思い出すことで、アイデンティティの確立にもつながります。逆にアイデンティティが確立出来なくなることは、人間としての死を意味します。

ブネ療法は楽器を弾くことだけではなく、音楽を通して、五感を最大限に活性化することで、効果を引き出すことが出来るのです。

【5】失語症との関わり

ブネ法は失語症に対しても効果を発揮します。失語症の原因のひとつである脳血管性の麻痺（右麻痺）の場合、片方が麻痺した場合、右と左のバランスを訓練する必要があります。その際にもブ



ネ楽器が効果的です。また、歌うことで言語訓練にもなります。歌うことで発語が明瞭になるケースも少なくありません。また、音楽は、右脳・左脳両方の脳を使うのでこのようなケースに対しても効果があります。

II ひかり苑と立川福祉作業所  
利用者のブネ法による演奏活動

高齢者支援系のひかり苑利用者や障害者支援系の立川福祉作業所利用者によるブネ法の実際の演奏活動が行われました。ふだんは楽器演奏に慣れない方も、ブネ楽器によって、楽しく参加することが可能となりました。（実際に、ひかり苑と立川福祉作業所の演奏を通して、会場は割れんばかりの拍手に包まれました）

## 二〇一〇福祉サービス研究発表会を終えて

研修委員会

委員長 東 俊 郎

二〇一〇年福祉サービス研究発表会が、中野ゼロホールにおいて、十一月二十六日に行われました。社会福祉法人として、地域に向け福祉サービスの新しい試みについて発信して行くことは、三回目となります。今回も、高齢、障害、保育、児童女性の各グループから、テーマを募集し、二年の歳月をかけて研究した成果を発表しました。当日は、会の趣旨及び人材育成、人材確保等を含めた福祉の動向について菅原常務理事より挨拶があり、続いて各グループの発表が行われました。

その後、利用者個々の能力を引き出す音楽療法分野の「ブンネ法」の取り組みについて、発案者であるスウェーデン・フェイクスヴァル市文化長でもあるステン・ブンネ氏より講演と楽器を使用しての実践的指導が行われました。立川福祉作業所の利用者の方々及び特別養護老人ホームひかり苑の利用者の方々が、このブンネ法を活用した演奏を行い、会場一杯の大きな拍手をいただきました。

また、ブンネ氏の講演に先立って、

保育支援系の昭和郷保育園、昭和郷第二保育園と特別養護老人ホームフジホーム、ニューフジホームのブンネ楽器を使用した演奏の取組もビデオで紹介され、認知症ケア、障害者ケア、子供の教育という多分野でのブンネ法の活用が紹介されました。



### ■アンケート結果から

施設福祉のサービスを施設だけに留めるのではなく、市民の皆さんと共に考え、新しい福祉サービスのありかたを模索して行こうとする試みから始まった福祉サービス研究発表会は、福祉を志す学生や市民の方々に福祉研究の成果を広く伝えて行く事を目的としたものです。他法人、大学等からの問い合わせを通して研究発表に対する期待を感じました。因みに今回の参加者は全体で四百名ほどでしたが、学生・教授など学校関係の参加者が多かったのが特色です。

また当日のアンケートから見ると各



分野の発表について「同援という一つの組織として、このような活動をされ外部にもオープンにして機会を提供されていることに感服いたしました」等の概ね良好な評価をいただきました。

### ■職員の育成と福祉サービスの発展へ

研究発表の各グループ共に、業務の間をぬって勉強会等を行い積み重ねてきた研究であり、施設あるいはグループ全体がそれぞれに協力し、助け合って築き上げた成果と言えました。アンケート等さまざまな意見をいただく事ができ、次の福祉サービス研究発表会へ向けて励ましもいただきました。

また、他業種の研究については、お互いに知らない事もあり、さまざまな刺激をうけたり、仲間としての連帯意識が育つたりと今日的課題も含め、参加した職員・施設長共にサービス研究発表会の意義を感じる事ができました。

二年間と言う取り組み期間は携わる職員にとつてさまざまな学びの場であったと思います。また広く市民の方々にサービス内容を公開する事で、多様な評価をいただき、自己を振り返る場ともなり、今後の福祉サービスの発展に寄与するものと信じます。福祉サービス研究発表会にご協力いただいたすべてのの方々に感謝申し上げます。

## 風邪のときの食事対策

昭島病院

管理栄養士

神山 綾子

風邪をひいているときはエネルギーを消耗しがちです。食欲がなくてもしっかりと食べて、十分なエネルギーを確保することが必要です。抵抗力や免疫力を高めるタンパク質やビタミンC、ビタミンB群、粘膜を保護するビタミンAの補給も大切です。もちろん水分補給も忘れずにします。また、風邪が上がつたりせきがひどくなったり熱が出たこともありますが、お酒は控えましょう。また、風邪のときは消化機能が低下しているので、胃腸に負担をかける脂肪は控えるようにしましょう。食物繊維のとり過ぎも必要なビタミン・ミネラルが排出されてしまうので要注意です。

### 発熱・寒気のあるとき

#### ○水分とエネルギーを補給

発熱すると水分とエネルギーがたたくさん消費されます。水分を充分に

とって、エネルギー源となるご飯や麺類などをとります。食欲がないときは冷たい果物や甘いものなどで補給するとよいでしょう。ビタミンB1を充分にとると、だるさが軽減されます。ビタミンB1を多く含む食品…豚肉・うなぎ・豆類・種実類など。

### 鼻水・鼻づまりのとき

#### ○発汗・殺菌作用のある食べ物を

鼻水・鼻づまりは風邪の初期症状です。早めの対策で風邪を撃退しましょう。汁物などの温かいものや、発汗促進・殺菌作用のある、ねぎやしよすがなどを食べて体を温めます。また、鼻腔の粘膜を強化してくれるビタミンAも有効です。ビタミンAを多く含む食品…緑黄色野菜・うなぎ・レバーなど。

### せき・のどの痛みのあるとき

#### ○刺激物を避ける

辛みや酸味の強いもの、塩辛いもの、熱いものなどは、のどを刺激して炎症をひろげ、せきの原因になりやすいので控えます。アイスクリームやゼリー

などの、のどに通りやすいものでエネルギーを確保するとよいでしょう。また、ビタミンAはのどの粘膜を守ってくれます。

### 下痢・吐き気のあるとき

#### ○消化のよい食べ物を

胃腸が弱っているときには消化のよい穀物を中心にこまめにとるようにします。味の濃いものは避けましょう。下痢ぎみのときは水分とともにナトリウムやカリウムなどのミネラルが失われるので、お粥やスープなどでしっかりと補給しましょう。

### 風邪のひき始めには

#### ○シヨウガ紅茶で体を温める

風邪のひき始めには体を温めましょう。辛い物を食べると汗が出ますが、これは体が温まって血のめぐりがよくなるからです。この点に注目すれば、シヨウガは辛み成分の宝庫。ひき始めの風邪にシヨウガ湯を飲むと体が温まって汗をかき、治りが早くなることも知られています。また、「お茶」といえば日本人は緑茶を好む傾向にありますが、寒さの厳しいヨーロッパ諸国では紅茶を好む傾向があります。これは、緑茶が体を冷やし、紅茶が体を温めることを経験的に知っているからで

簡単!

### シヨウガ紅茶の作り方

#### 【材料一人分】

#### 〈作り方〉

○紅茶  
茶葉でもティーバックでもOK  
普通に紅茶を入れ、シヨウガのすりおろしを加える。

#### ○シヨウガのすりおろし

小さじ一さらしに、黒砂糖かハチミツを入れると飲みやすくなる。

#### ○黒砂糖かハチミツ 適量

# 私の夢

ニューフジホーム

● 齊野 幸子

私の夢は孫たちのためにも元気で長生きをして生きぬくということです。先日も孫のバンドのライブに近くの市民会館まで行きました。今時の音楽でしたが私も客席から大声で応援してきました。子どもや孫たちの成長をみるのは本当に嬉しいものです。私も元気で過ごすために毎日の散歩は欠かせません。好きな音楽を聴きながら絵を描くのが私の日課です。

私は若い頃から油絵を描くことを趣味にしています。ホームにも画材を持ち込んでいます。気分がいい日には窓側のスペースをアトリエにして絵を描きます。絵が好きでフランスの美術館にも行ったこともあります。フランスでは道行く人がみんなニコニコしてとても嬉しかったことを覚えています。いろいろ



な美術館めぐりをするのも夢です。テレビをよく観ていますが、世界中の情報をみることができて本のためにになります。

今一番やりたいことは料理や家事をすることです。私は昔、喫茶店を営んでいたので人に何かをしてあげることが好きです。外食をした際にはその味を覚え、孫たちによく作ってあげました。みんな喜んでくれましたよ。

ニューフジホームに来てから半年が経ちましたが、絵を描いたり、テレビを観たり楽しく暮らしています。これからも元気に過ごしたいと思います。

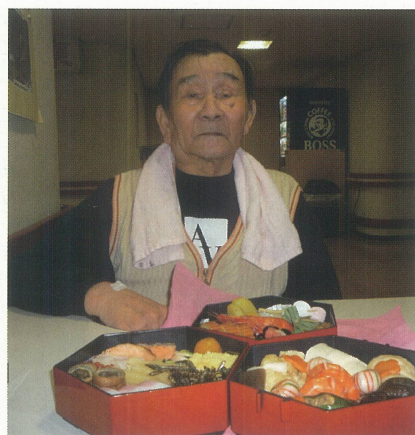
● 相馬 勇孝

この年になって「夢」と言われても正直困りますが、しいて言えばおいしいものを食べることだと思いません。一般的においしいというものはなく、自分が育った北海道の食べ物や母親がよく作ってくれたものを食べたいです。私が特に好きなのはイカとタコです。私は北海道の羽幌というところで暮らしていました。羽幌は稚内から南西に一〇〇キロ、



た。届くのが楽しみです。

日本海に面した小さな町です。私は仕事が終わると釣りをしたり山菜を採ったりしていました。その頃の食べ物懐かしくて。今では自分で作れないので通信販売で購入しています。先日も松前漬を購入しました。



もうひとつは趣味の文化刺繍です。昔は多趣味でラジコンの製作もしましたが、目が悪くなってしまいました。細かい部品が見えずやめてしまいました。唯一今でも続けているのが文化刺繍です。現在は「薔薇」に挑戦していますが、目がよければ本当は「山水画」をやりたいと思っています。

「食」と「刺繍」——これを存分に楽しむこと、これが私の夢です。持病が悪くならないように毎日健康茶も飲み始めました。夢があるからこそ、毎日努力できるのかもしれない。

# 私の夢

さやま園



● 藤原さん  
就職して一人暮らしをして結婚したい。

● 内貴さん  
大金持ちになって、セレブな生活を送りたい。

● 白山さん  
いつかはフルタイムの仕事に就いて、そのお給料でボイストレーニングに通って、歌が上手くなったら歌手になりたい。

● 藤沼さん  
グループホームに入って、将来は1人暮らしがしたい。

● 深瀬さん  
好きな人と結婚をしたい。

● 鳴川さん  
早く自立をして、親を安心させたい。

● 梶山さん  
養護施設の職員になりたい。

● 西久保さん  
さやま園を卒園したら、就職してきちんとできる様になったら、彼氏と結婚したい。

● 梅田さん  
まずはグループホームで生活をして、その後1人暮らしをして彼氏と結婚をして、お父さんを安心させたい。

● 船橋さん  
将来はお菓子屋さんになりたい。できればケーキ屋さんがいいかな。

● 俵さん  
グループホームに入って、仕事を続けて落ち着いて暮らしたい。仕事は老人ホーム等でリネン交換の仕事がしたいです。将来は結婚ができればいいかな。

● 石川さん  
渋谷の109で働きたい。

● 太田さん  
パン屋さんで働きたい。

● 若林さん  
エステ店で働きたい。お客さんに喜んでもらいたい。

● 平山さん  
お仕事に行きたい。

● 坂井さん  
ドレスが着たい。結婚もしたいかな。

● 田丸さん  
旅行に行きたい。秋田の湯治場に行つて体を治したい。国内に行きたい。海外に行きたい。ハワイやスイス、ニューヨークに行きたい。

● 中林さん  
アメリカに行きたい。フォークでご飯を食べてみたい。

● Aさん  
コアラに会いにオーストラリアに行きたい。

● 市川さん  
大阪に行きたい。古い昔の家があつたりする街を見てみたい。ホテルに泊まってゆつくりしたい。ドッポに行きたい。

● 木村さん  
沖縄に行きたい。

● 中丸さん  
お料理を作りたい。ホットケーキを作ってみよう。

● 斎藤さん  
山形に行きたい。

● 小林さん  
温泉に入りたい。

● 成島さん  
ウエディングドレスを着たい。つけ毛をしたい。ちょっと高い靴を履きたい。長い手袋をつけたい。つけまつ毛をしたい。

● 八木原さん  
若いボランティアさんと買い物に行きたい。

● 大越さん  
大金持ちになりたい。旦那さんをもりたい。家のことをちゃんとやってくれる人。

● 西川さん  
弟に会いたい。ライオンズに優勝してもらいたい。

● 松倉さん  
ドッポに行きたい。

# 将 来 の 夢

昭 和 郷 保 育 園

新幹線がかっこいいから、新幹線の運転手になりたいです。

(竜 大)

悪い人からみんなを守りたいから、白バイの警察官になりたいです。

(勇 貴)

泥棒を捕まえてみんなを助けたいと思ったのと、勤労感謝訪問で警察署を訪問した時にかっこいいと思ったので警察官になりたいです。

(優 大)

絵本を見たときにかっこいいと思ったから、「たつのこたろう」の雲の上の龍になりたいです。

(葉 至 朗)



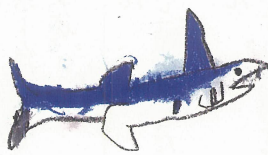
みんなを笑顔にしたいから、病院の先生になりたいです。

(理 玖)



サメのことをたくさん知りたいからサメの博士になりたいです。

(幸 永)



イルカと一緒に泳ぎたいから、調教師になりたいです。

(心 美)



白バイの警察官になって、泥棒を捕まえたいです。

(笙 小)

大学の先生になって、いっぱい勉強したいです。

(も こ)

サッカーがうまいから、サッカー選手になりたいです。

(善 一 郎)

メロンパンが好きだから、パン屋さんになりたいです。

(智 子)

サッカーが楽しいから、サッカー選手になりたいです。

(悠 人)

一番早い電車はリニアモーターカーだから、リニアモーターカーの運転手になりたいです。

(悠 里)

勉強するのが好きだから、博士になりたいです。

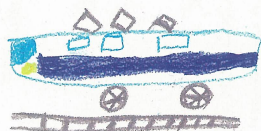
(智 弘)

すぐに一点入るから、サッカー選手になりたいです。

(鷹 斗)

ダンスと歌を習っているから、「嵐」になりたいです。

(愛 斗)



新幹線のリニアモーターカーが五〇〇キロ出て楽しそうだからリニアモーターカーの運転手になりたいです。

(翼 大)



## 私の夢

双葉園

●M・K(高校三年生 女子)

私の将来の夢は、パティシエになることです。

なりたい理由は、おかし作りが好きだからです。そして食べた人が、私の作った物を「おいしい」と言って食べてくれることが本当に嬉しいからです。なのでパティシエを自分の職にしたいからです。

けれど私の高校は、卒業後は就職と決まっています。進路を選択するには難しい高校です。もっと早くに、なりたい自分に気づいていたら、夢にも早く近づけられたかもしれません。

ですが、私は就職であつても、少し将来の夢までの道が遠回りでも一歩ずつ、確実に近づきたいです。

パティシエになるのは簡単なことではないけれど、将来の夢を目標にしながらか、これからも頑張りたいです。

●N・B(高校三年生 男子)

私は将来老人ホームで働き一人でも多くの高齢者の方々を今よりも笑顔で安心して暮らせる環境をつくりたいという夢があります。

その夢は中学二年生の夏休みに老人ホームへボランティアに行つたことがきっかけです。初めは高齢者の方とは全く話したことがなかったのですが、とても不安で緊張していました。いざボランティアが始まり、高齢者の方々が近くにいると緊張はおさまりませんでした。特に年齢がとも離れていることから、何を話していいのかわからず、ずっと黙っていました。そんな時に一人の高齢者の方が話しかけて下さり、そのおかげで緊張がとけ、とても楽しく会話をすることができました。その後はトイレ掃除や利用者の方々の部屋の掃除をしていました。掃除が終わって部屋をでようとすると、その部屋の利用者の方に「ありがとう」と言われました。その言葉がとても嬉しく、それまでの疲れが全部無くなったような気がしました。

「ありがとう」の言葉にとて

もやりがいを感じ、人の役にたつことへの充実感を体験しました。その体験から老人ホームに勤め、高齢者のために働きたいと思うようになりました。

現在、日本は高齢化社会と言われていきます。そんな中、老人ホームで働く人、介護という仕事に多く人が少なく、働いていてもすぐに辞めてしまう人が多いと聞いています。私は高齢者の方々のためなら辛い事でも頑張れるという強い意志を持っています。その気持ちには両親のかわりに自分を支えてくれた祖父母への感謝の思いや、祖父母にももっと幸せになってほしい、より良い生活をしてほしいという自分の願いが土台となっています。就職が決まり、夢に一步近づきました。しかし自分自身が感謝の気持ち忘れず、夢の実現に、日々励んでいきたいと思っています。



## 私の夢

高嶋の家

●M・K(中学二年生 男子)

私の将来の夢は動物関係の仕事をすることです。

昔から、学校の行き帰りの時も遊びに出かけた時も、散歩をしている犬を見ると飛んで行ってしまい、飼い主さんに許可をもらってから触らせて頂いていました。今でも変わりませんが、最近動物番組や動物の関係の本を見ることが多くなりました。

中学生になって、これからの進路を考えなければならぬことが必要となり、学校の先生とお話ししたり、ホームの職員さんと相談した結果、牧場等で馬や牛のお世話をする仕事に就くための高校があることを知りました。

勉強はちよつと(実はとっても笑)苦手な私ですが、好きなことのためなら頑張ってみようかなと思う様になりました。学校の先生もホームの職員さんも、励ましてくれたり、応援してくれているので、小さいころからの夢だった、動物に関わる仕事の為に頑張ってみようと思つています。その為の知識や勉強を、少し自信はないけれど頑張ってみようと思つています。

## ボランティアの声

昭和郷第二保育園

副園長 阿部 英子



昭和郷第二保育園は、三年前から近隣の瑞雲中学校ボランティア部を受け入れています。本年度は九人の生徒さんがそれぞれ、週二回午後三時過ぎから一時間程度保育園に来て子ども達と遊んでくれています。その中の五人の生徒さんに、保育園でのボランティアについて感想を聞いてみました。

奥崎大斗君(二年生)ボランティアをする場所は老人ホームと保育園があつたので友達と一緒に保育園を選んだ。子ども達に頼まれて折り紙を折ってあげたり本を読んであげたりしている。子どもが無邪気かわい。

小関日菜子さん(二年生)子どもが大好きで保育園のボランティアを選んだ。この保育園は子どもも、先生もたくさんいるのでびっくりした。保育園の先生は子どもの躰もするんだなあとと思った。お母さんが迎えに来た時の子ども達の嬉しそうな顔がよかった。将来保育士になりたい。

宇田好穂さん(二年生)友達が保育園でボランティアをしていて楽しそうだったので選んだ。小さい子と遊べて楽しい。五歳は生意気になってくるが二、三歳はかわいい。



津雲梨萌さん(二年生)二年間続けて通ってきたので子ども達が名前を覚えてくれて嬉しい。ボランティアの仲間が増えて同じ話題が持てて楽しい。

有田咲さん(二年生)去年は近所で知っている子がこの保育園に通っていたので遊びやすかった。二年目なので保育園にも慣れてきた。

子ども達はお兄さん・お姉さんと遊ぶのが大好きで、毎回交流を楽しみにしています。これからもぜひ、続けていって欲しいです。

ひかり苑

ボランティア 原 陽子

ひかり苑を退職して、ボランティアを始めて四年が過ぎようとしています。

在職中は手芸担当をしておりましたが、ボランティアの方に任せる事が多く、手芸を少しでも手伝えたらとの思いから始めました。仕事とは違い利用者の方と、ゆったりとした気持ちで接することが出来ます。

ホーム喫茶では、利用者の方が好きなお菓子、飲み物を召し上がりながら気楽にお話ができるよう、お手伝いさせていたいています。利用者の方からも「おいしいよ」「楽しかった」など笑顔で声を掛けられると、ついうれしく

顔が綻んでしまいます。

四年間のボランティア活動では、利用者の方の顔触れも変わってきました。最近では、レクリエーションに参加される利用者の方が少なくなり、ボランティア同士で「いつまで続けられるかしら」と心配していましたが、利用者の方から「遅かったなあ」「待ってたよ」と言われました。

皆様が待っていてくれる間は、私達もお手伝いを続けようとお互いに話し、利用者の方と談笑しながら、楽しいひと時を過ごさせていただいています。

これからも利用者の方々と共に楽しみながら、ボランティア活動を続けていきたいと思っています。



サンライズ武蔵野

ボランティア 染谷 和毅

実習でお世話になった縁もあり、昨年の十月から学習ボランティアとしてサンライズ武蔵野に来ています。初めてのサンライズ武蔵野に来たのは昨年の夏の介護等体験実習でした。実習中に施設職員の方より施設にいる小中学生の勉強を手伝ってくれる人を探しているという話をいただき、十月末頃から本格的に参加することになりました。現在は月曜日の午後五時からの学習会を中心に、都合がつく範囲で子ども達と勉強をしています。

学習ボランティアといっても勉強を一緒に取り組むだけではありません。ボランティアを始めるにあたり、施設の職員方からは、「単に勉強だけを見てもらうボランティアではなく、わかりづらい表現かもしれないけれど、職員でも親でもない大人・お兄さん」といった存在になつてくれればうれしい」と話をいただきました。そのため、時間に余裕がある時には、子ども達と一緒に集客室で卓球等をして遊んだり、時には近隣の公園で遊んだりもしています。

学習会には毎回参加してくれる子



どももいれば、そうでない子もいます。まずは宿題を一緒にやろうと言葉を交わすところから始まり、気分の乗った子は一緒に楽しく勉強するのですが、中にはそうでない子もいます。しかし根気強く誘ったり、子どもの競争心をくすぐるような言葉をかけると、次第に気分が乗っていつきに宿題を進めてしまう事も多々あります。そして宿題を終えた後の表情は何とも言えないほど嬉しそうで、そんな顔を見ると、こちらも力が抜けて笑顔になれたりもします。また日々子ども達が勉強の内容を理解し、吸収していく姿を見ると、子どもの底知れない力を感じる事ができ、とても驚かされます。

まだボランティアとしては日も浅いですが、遊びも勉強も楽しみながら、子ども達ともっと仲良くなっていければ良いなと思っています。

東村山生活実習所  
ボランティア 鈴木ヒロ子

新生「ふわふわドリーム」の誕生です。桜の開花と同時に明るい第一歩を踏み出しました。私の中では一際輝く旧年の想い出です。新しい職員、利用者の皆様とともに不安や失敗もそれらを明日へのエネルギーに変えてしまおう万全な態勢で見事に開花。心をこめた美味しいクッキー、シフォンケーキの優しい味は季節の移り変わりの色彩と香りの衣をまとうまでの大進歩です。なんといっても利用者の輝く笑顔に迎えられるお客様の満ち足りた各テーブル。日進月歩の日々の精進は昨年十一月二十日にはなんと八十名の市内の障がい者親子の対応を立派にもてなすみごとな成長ぶりです。お褒めの言葉と笑顔のご褒美は同じ市内の新しい仲間の大きな輪へとひろがりました。

また十一月の保護者会でのことです。日本の高齢化への社会問題を反映するかのように自身の高齢に伴う子供の身の処し方への不安感、安定された恒久的な処遇の話題は切実な問題として、且つ、最も重要な課題として提起されました。この件においては多くは受動的な話しとして終始し、司法書士、弁護士による後見人制度への話題として終わってしまいがちです。ところが、実習所の利用者のお母様のお一人から「私たち親は何をしたらよいのですか。じつとしてはいられません」ただ受身だけではなく自分たちの力も合わせこの問題への取り組みが提案されたのです。親の立場としてじつとしてはいられないひたむきな大きな親の愛を教えられました。私事で恐縮ですが交通事故による中途障がい(高次脳機能障害)の患いの母親として関わってきたこの世界。一般の高齢化の問題よりさらに切実なものとして受け止めています。

実習所の多くの職員の方々に日々教えられ励まされ、特に若い職員の方々との対話の中に「利用者の方々が楽しく安心して過ごせるよう一日を守つてあげたい」それが日々のお仕事の生き甲斐との趣旨。今日もこの実習所の職員の方々のそのモットーを少しでもお手伝いさせていただければと私の小さな「灯」をかざし東村山生活実習所の輪の中に入れていただく幸せをかみしめています。

## 第五十四回 全国母子生活支援施設 研究大会に参加して

サンライズ武蔵野

所長 石川 宜子

平成二十二年十月七日～八日、静岡県浜松市「グランドホテル浜松」にて、「母と子の最善の利益を保障するために児童福祉施設最低基準の改正を！」をテーマに全国母子生活支援施設研究大会が開かれました。母子生活支援施設の関係者等二百一十一名が参加し、地域主権による児童福祉施設最低基準（以下、最低基準と記す）の条例委任の方向の中で、最低基準の改正について活発な議論が繰り広げられました。

### 最低基準の改正を目指して

一日目は「母と子の最善の利益を保障するために児童福祉施設最低基準の改正をめざして」をテーマとするパネルディスカッションが行われ、児童福

祉法が制定されてから、ほとんど見直されてこなかった最低基準の改正に向けた課題と方向性が、パネリストより提起されました。二日目は「母と子の最善の利益を保障するために児童福祉施設最低基準の改正を考える」をテーマに分散会が開催され、各分散会で課題提起者より提起された最低基準改正の課題についてグループ討議が行われました。その後、全国母子生活支援施設協議会兜森会長より、最低基準の見直しは児童福祉法の理念に沿って進める、最低基準の底上げを図る、地域格差・施設間格差の問題への取り組み、大会で上がった意見を集約

し厚生労働省へ要望する、とのまとめがありました。

### 基調報告と行政説明から

厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援室室長補佐 渡利賢司氏の行政説明では、母子家庭の現状、就労支援の状況、養育費確保に関する取り組み、児童扶養手当の一部支給停止及び適用除外について、人身取引対策等について説明がありました。全国母子生活支援施設協議会 兜森会長による基調報告では、①実態調査結果から非正規雇用者が増加し、生活の不安定さにつながっていること、②外国籍の利用者が全体の二割となり、支援にあたって通訳等が必要となっていること、③社会変化に伴う新たな課題（児童虐待、DV被害、出会い系サイトなどネット犯罪の増加）への対応が必要になっていることなどの現状が報告されました。また、地域主権への流れの中で課題となっている最低基準の改正についての報告がありました。

### 記念講演

「子どもの貧困をなくすために」母子生活支援施設に期待するもの」か

ら、国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部長であり、「子どもの貧困―日本の不公平を考える」（岩波新書）の著者である阿部彩氏の記念講演がありました。統計資料の役割は行政に要望する時のバックグラウンドである、子ども十人に一人が母子世帯で育っている、欧米は失業問題だが日本はワーキングプア、家庭の崩壊などのお話が講演の中で印象に残りました。母子生活支援施設で必要な支援は、安定した居住環境、安定した生活基盤、安心できる「場所」、生活能力の回復・育成、パーソナルサポート、育児指導（ペアレンティング）、外国人の利用者に対す



るケアをあげられました。

### 利用者支援を求めて

利用者支援の現状から、最低基準の底上げが必要であることは明らかですが、地域格差、施設格差が大きく、現行の最低基準すら、守られていない状況があるのも、また、現実です。条例委任となり、現在の格差がさらに広がらないように、業種内での認識を高め、要望していく必要があります。利用者支援の維持向上のためにも、児童福祉法制定からほとんど見直されず、ほぼ戦後の水準のままの最低基準の底上げが行われなければ、と痛感した大会でした。

## 第三十五回 全国救護施設研究協議 会大会に参加して

昭島荘

園長 相原幸仁

平成二十二年十月二十八日から二十九日沖繩にて四百三十三名の参加者のもと第三十五回全国救護施設研究

協議大会が開催された。

一日目の基調講演では、「救護施設の機能強化に向けての指針」について全国救護施設協議会 森 好明会長より、平成二十一年度地域生活移行支援事業実績では全国百八十八施設中12.8%、救護施設居宅生活者ショートステイ事業実施自治体八自治体、保護施設通所事業について数値把握はないが「事業期間」の見直し一年以内を撤廃、居宅生活移行支援事業の創設、貧困ビジネスの廃絶に向けた大阪市の取り組みが示された。

行政からの説明では、厚生労働省・援護局保護課長三石博之氏が生活保護の現状と課題をテーマに講演された。生活保護の被保護者は本年六月現在百九十万七千人、人口千人当たり十五人で昭和三十年の百九十二万九千人とほぼ同数である。世帯類型別被保護世帯数の推移では、高齢者を除くその他の世帯（就労可能者）が50%と平成十九年度と比較して非常な勢いで伸びている。失業も関係しており、平成二十二年五月の完全失業率は5.3%もある。福祉事務所も被保護者に対して就労指導だけでなく、国の「就労プログラム」



を使った就労指導を行っている。具体的には、就労体験プログラムやシミュレーションなどすぐに就労でなくワンステップいれる方法をとっている。

保護基準の見直しについては、現在厚生労働大臣主催により学識経験者及び関係団体の有識者からなる「ナショナルミニマム研究会」を立ち上げている。中間報告の中で最低生活費について水準均衡方式を基本としつつ、マーケットバスケット方式も含めた新たな手法による多角的な検証が必要と報告している。

矯正施設退所者の地域定着支援については、福祉の支援が必要な刑務所出所者についても救護施設などに期待している。（地域生活定着支援事業）

無料低額宿泊所の適正化については、無料低額宿泊所等に対する適正化のための議員立法がある。

### 「これからの救護施設機能戦略」

私の参加した第一分科会では、救護施設の機能強化に向けての指針より、今後の救護施設が強化すべきセーフティネット機能と地域生活移行支援機能を掲げた。昨今の社会経済情勢においては、矯正施設退所後に福祉的支援を要する者、精神科病院からの退院者などの受け入れ先として、救護施設の役割が求められている。

救護施設利用者が必要とする支援は様々であり、それらにどのように対応し、個別の希望に応じた自立支援を行っていくかが今後の大きな課題である。

救護施設の機能強化を念願に、施設の置かれている現状や課題、今後のあり方等について討議や意見交換を行った。



◆ みなと保育園 ◆

みなと保育園では今年、開園三十五周年を迎えます。閑静な住宅地にあり、駅直結の高輪支所の側にあります。

その支所に併設されている集会所をお借りして月に一度、地域の方対象に「みなとさくら会」と称し、和太鼓を通して地域交流事業を行っています。年長児が行っている和太鼓の楽しさを地域の方々にも知って頂きたいと、平成九年支所が開所したその年に開催された「ユイヤーコンサート」に初出演したのが発足のきっかけでした。

その後平成十二年「港区高輪コミュニティフェスティバル」に参加。平成十二年からは区主催による発表の場がなくなつたので、みなと保育園主催により、平成十四年まで発表会を行っていました。しかし発表会の為の月に二度の練習になつてしまい、参加者が激減。しばらくは発表会を行わず、「太鼓に触れる」「太鼓を楽しむ」事に重点をおこうと方向転換する事としました。

地域交流事業の和太鼓を始めて十三年。毎月の「みなとさくら会」の草の根活動が続ける事で口コミから年々参加人数が増え、最近では毎月五十名程の

参加があります。

現在はゼロ歳から大人まで、初心者の方から上級者まで幅広く参加され、地域の方々の年齢を超えたコミュニティの場になっています。

これからもそれぞれのレベルで楽しめる和太鼓を通して、年齢を問わず皆様が関わり合える場、地域に根付いた「みなとさくら会」にしていきたいと思えます。

(鈴木記)



◆ フジホーム ◆

フジホームではご利用者・職員ともに楽しめるような季節行事に力を入れていきます。夏に開催した「縁日」に引き続き、今回は「文化祭・運動会」を企画し

ました。

特養において「運動会」って何ができるの?とのイメージの中、どんな種目をやってみたいかご利用者に聞き、どうすれば楽しんで頂けるプログラムが実現できるか、試行錯誤を繰り返しました。例えばパン食い競争では車いすでも届く高さにパンを準備、ボーリングは座ったまま転がすことができる台を作成等と、誰でも参加しやすい競技内容をつくっていきましました。

開催当日、「全力で頑張ります!」とご利用者宣誓が始まりました。スタートラインから闘争心むき出しでゴールへと向かい摘み取ったパンを袋のまま食べようとするとする方の勇姿や、玉入れではこそりと玉を足している方もおり、「これは認めません」と本気でそれに腹を立てる場面も見られ、勝ちへの思い入れの強さと童心に帰る思いもあつたのではと想像します。ボーリングでストライクを取った時、目の色を輝かせる方もいて「こんな笑顔をされるんだ」と嬉しく思うと共に「やって良かったな」と思える瞬間でもありました。

普段は食が進まない方でも美味しく召し上がっていた模擬店のやさそば、数日前から職員と協働でつくった貼り絵等の作品展示、ご利用者が指に墨汁をつけて一生懸命に作成した「文化祭」の三文字の垂幕、準備段階から「楽しかった」との声も頂きました。

同 援 俳 壇

昭島荘 俳句

秋晴れや  
白衣の天使輝いて

きぬゑ

新米や  
大人数の三家族

香雄

秋の雨  
心燃やして句会かな

美知子

新米を  
香りかみしめ夕食で

通子

新米の  
農作今や実りけり

フキ子



このような行事を企画運営できるのも、ボランティア（ふじの会、わかばの会）の皆様のご協力、ご利用者楽しんで頂きたいという職員の共通意識と行動力、関係される方の理解があつてのもの。ご利用者・職員が一緒になり楽しみを共有できる行事、それがご利用者の生活の質の向上につながり、職員のやりがいになるのではないかと感じています。心に寄り添うことのできる思い出づくり、その手段としての行事を通して、今後もご利用者の笑顔、安心できる居場所づくりの支援を進めていきます。

（栗原 記）



◆さいわい福祉センター◆

毎年八月の第二土曜日に、東久留米市内の十五団体が協力し、学芸大学附属特別支援学校を会場にし、夕涼み会を開催しています。

さいわい福祉センターは、事務局として企画・運営、各団体との調整を図る中、心的な役割を担うとともに、クラフト作品の販売、お好み焼きの出店をしています。

今年で二十二回目を迎えた夕涼み会の前身は、心身障害児の通所訓練施設の「わかくさ学園」が、地域の方にもっと障がい者を理解してほしいという思いから始まり、現在のような大きなお祭りへと発展してきました。

夕涼み会では、まず最初に障害者団体によるヒップホップダンスや沖縄県人会東京支部によるエイサー踊り、打太鼓などの踊りや演奏によるステージショーから始まり、夕涼み会を盛り上げます。続いてやぐらを囲んだ盆踊り、そして最後は、メインイベントであり、市内唯一の打ち上げ花火で夜空を彩り、ナイアガラ花火で感嘆の声が上がります。花火師は、障害施設の施設長が、このために花火師の資格までとりました。

当日を迎えるまでとはとても忙しく、身も心もヘトヘトとなってしましますが、障がいの有無に関わらず年々増える来

場者で埋め尽くされる会場からの楽しいような光景は、これまでの苦勞を一掃し、地域のイベントとして根付き、皆さんに喜ばれていることを実感します。

夕涼み会は、この他に交通安全協会や東久留米駅前商店街、株式会社ココアコーラボトリング等、多くの方々のご協力を頂いており、運営資金も殆どが善意の寄付金となっています。お帰りの際には、当センターの職員が真夏の暑い中、ぬいぐるみをかぶり、寄付金を募ります。皆さん「楽しかったよ」「来年も花火を楽しみにしています」など声をかけて下さいます。その言葉を励みに、今後も地域の催しとして続けていきたいと思っています。

（平井記）



万世敬老園 あらざる句会

喋らずも

小春日散歩老夫婦

平岩 武二

穏やかに

晴れても焦る落葉かな

月岡 久三

故郷の

野を想いつつ落葉踏む

松本 誠司

散歩道

足にまといし落葉かな

寺島 誠

ライトホーム

おだやかな

年にとねがう初日の出

霜柱

もたげし土を踏みゆく

桂 杼



全国老人福祉施設研究会議  
〔富山会議〕分科会実践研究発表  
〔奨励賞を受賞して〕

原町ホーム

園長 岡本 勝巳

去る十一月十六日(火)富山市を会場に全国老人福祉施設研究会議が行われました。その中の分科会において原町ホームの取組である「持ちあげる介護から持ちあげない介護へ」の取り組みが「奨励賞」を受賞しました。

当日は五つに分かれた各分科会(十四〜十九施設発表)でそれぞれ各施設から特色ある発表がされました。その中で奨励賞を受賞した理由としては、「負担の少ない介護を目指す上で誰もが興味深い取組と新しいものを導入する工夫、プロセスは他にも通じる内容だった」と評価された結果でした。今後はこれを施設全体に普

遍化し、利用者、職員共に安心・安全を感じられる介護を目指していきたいと思えます。

最後にご協力いただきました各方面の皆様ありがとうございました。

祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方が受賞・授与されました。  
おめでとうございます。

社会福祉法人日本保育協会

永年勤続表彰

同援みどり保育園

保育士 武田朋子

ご 寄 付

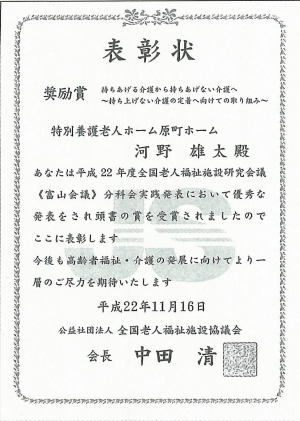
◇戸塚洋子◇社会福祉法人村山苑職員◇同◇森岡正代◇としま女性会会長 岡田てるゑ

後 援 会

◇川鍋 實◇松浦トクエ◇磯野輝夫◇吉村愛子◇(株)ケイエヌ機材◇エーエスシー(株)◇ネオ・ハルト(株)◇(株)三ツ矢◇(株)洋品店ウエノヤ◇昭島ガス(株)◇(株)A I H O 多摩営業所◇牛込理容女性部 大内光子

ご支援ありがとうございました。

(敬称略順不同)



バザーのお礼

盛夏号でお知らせしました通り、今年も同援各施設では、それぞれ趣向を凝らし盛況にバザーを開催することができました。

皆様方のご協力、ご寄付は法人各施設の設備、改修等に活用させていただく予定です。

寄せられました皆様方のご厚情に對しまして深く感謝申し上げます。今後共、地域の皆様方にご支援いただけるように努めてまいります。ありがとうございました。

雑 感

高齢者の知的関心や脳の活性化にも繋がるという学習療法に関心を持ち始めた頃、国立京都国際会館で行われた第二回学習療法国際シンポジウムに、一人として参加したのは、今から八年前の平成十五年一月十七日であった。内容については「学習と脳の科学」「認知リハビリテーション」「学習療法」「総合討論」とセッションが進み、介護施設における可能性の挑戦として学習療法の実践報告もなされた。

新しい年の始まりに思い起こす一つとして、このシンポジウム国内外参加者の熱い討議や課題等の資料を、手元に引き寄せることがある。読み直ししながら、シンポジウム前日に積った雪が見せる墨絵の如き京都の冬景色が、いつても鮮やかに立ち上ってくる。

(清水 記)

― 表紙の写真 ―  
「河口湖にて」(平尾正一氏)

平成二十三年一月十五日 発行  
東京都新宿区原町三の八  
電 話 〇三(三三四一)七六一  
社会福祉法人 財団法人 東京都同胞援護会  
発行者 牧 野 洋 一  
印刷所 東京都同胞援護会事務局  
東京都千代田区外神田一―一五

訃 報  
高 井 壽 成 氏  
(享年九十一歳)  
かねて病氣療養中のところ、去る十二月十四日に薬石効なく逝去されました。  
故人は、昭和三十年三月に本会の豊島母子寮(現母子支援施設)職員として入職、その後母子寮・保育所の施設長及び法人事務局の総務部長を歴任され、昭和五十九年一月まで務められました。  
また、昭和四十九年五月から本会の評議員・監事として長期間に亘り本会の発展に尽くされました。  
ここに故人のご冥福をお祈り申し上げますと共に、謹んでお知らせいたします。